

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①探求的な学習活動を通して科学的リテラシーと国際性を育成する教育課程を編成する。 ②生徒の主体的、協働的な学びへの授業改善を組織的に進める。 ③特別活動等への生徒の主体的な取組みを推進する。	①主体的な探究活動を通して、基礎学力と探究活動を相互に深め、論理的思考力と創造性、国際性を育成する。 ②「主体的・対話的で深い学び」への授業実践に取り組み、進路実現へつなげる。 ③特別活動と学習とのバランスを主体的に考慮し、計画的に推進する力を高める。	①SSH事業の全校運営体制の整備と実践、「課題研究指導力向上研修」の実施、「課題研究横高スタンダード」の整備、研究開発課題のプログラム相互の連携強化。 ②学力向上ワーキングと教科会の活性化、「知識活用型授業」実践、「深い学び」のための研究授業・研修会の実施。 ③LHR年間計画の効果的な策定。	①SSH事業に対する全校体制を構築し、効果的に運用できたか。 ①課題研究に関する教員研修を実施できたか。研究開発課題を総合的に取り組み、その方法論を開発できたか。 ②学力向上ワーキングと教科会は活性化したか。研究授業・研修会は年3回以上開催したか。 ③特別活動の事後アンケートで「主体的」「計画的」等の項目の数値。					
2 生徒指導・ 支援	①個々の生徒に応じた支援体制の充実を図る。 ②部活動を通して生徒の生きる力を育成するとともに、学習・進路活動との調和を図る。	①生徒情報の共有及び生徒への支援を組織的かつ迅速に行う。 ②部活動を通して自主自立、心身の成長を促し、学習・進路活動とのバランスを自己マネジメントできる力を育成する。	①生徒支援の教員研修開催を通じた支援知識・スキルの向上。コア会議の活性化、情報共有及び組織的対応の迅速化。 ②県方針に基づく部活動休養日の確保、文化祭準備期間・時間の調整。	①支援教育の研修を実施したか。生徒情報の共有・コア会議の活性化、迅速な組織的対応を行えたか。 ②アンケート調査結果等により、部活動等と学習のバランスが取れたか。					
3 進路指導・ 支援	①生徒が社会との関連の中で、自らのキャリア発達を主体的に考える指導の充実を図る。 ②生徒の第一志望実現に向けた進路指導体制の充実を図る。	①進路について考えさせる指導を計画的に行う。 ②第一志望の実現のため、学力向上、授業編成と進路指導を効果的にリンクさせる。 ③土曜講習、各セミナーを効果的に連携させ継続的な指導を行う。 ④進路指導計画の有益な関連付けを行い、熱を持った指導を継続的に推進する。	①未来ナビの効果的・合理的運営。医療系ゼミの効果的運営。 ②レッスンプラスの効果的編成、学習指導・進路指導との関連強化。 ③各講習・セミナーを関連させ、年間通じた学習支援に一貫性、継続性をもたせる。 ④進路指導の各内容のねらいの明確化、相互の効果的連携、職員研修、情報共有。	①未来ナビの満足度調査、医療系ゼミを年5回以上開催。 ②レッスンプラス編成と授業、進路実現の検証・改善。 ③各講習を関連させ、ねらいを設定できたか。継続受講者の人数、各講座参加人数。 ④進路指導計画の効果的改善、各項目のねらい明確化と共有、模試の教員研修活性化、進路情報の迅速な共有ができたか。					

4	地域等との協働	<p>①地域等との連携を深め、信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>②地域の教育力を活用するとともに、地域に貢献する教育活動を充実させる。</p>	<p>①生徒の地域活動への参画を活性化する。</p> <p>②SSHの活動を通じて、科学やグローバル活動を積極的に発信し、地域と協働する。</p>	<p>①生徒の参画、対象生徒・部活等の重複に配慮した継続性のある形態の工夫。</p> <p>②SSH事業における連携地域・機関の拡大、市民対象「みんなの理科FES」へのSSH事業としての貢献。</p>	<p>①地域活動の参加人数、機会は増えたか。生徒企画はできたか。</p> <p>②連携地域・連携機関の拡大ができたか。「みんなの理科FES」に平成29年度より充実した取り組みができたか。</p>				
5	学校管理 学校運営	<p>すべての職員が教育環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、積極的に課題に取り組む組織づくりを進める。</p>	<p>①学校の美化、整備を進める。学習環境について学習効果との関連を工夫する。</p> <p>②ICT教育環境の整備をさらに推進し、効果的な活用と管理体制を工夫する。</p> <p>③HP等での発信を活性化させる。</p> <p>④学校の課題、教育界の課題を共有し、機動的、合理的に業務を推進する。</p>	<p>①校内の備品等整理と効果的活用、日常の校内美化活動、環境整備の活性化。</p> <p>①選択教室、サイエンスルームⅡの拡張に伴う各部屋の活用計画と整備。</p> <p>②サイエンスルームⅠの効果的活用、整備、管理体制の改善。</p> <p>③HPの週一回以上更新。</p> <p>④会議・回覧等による情報共有、目標の共有化と時間管理の徹底。</p>	<p>①教室、部室等の美化活動、環境整備の仕組みの構築、実践はできたか。</p> <p>①選択教室等拡張に伴い活用計画と整備は進んだか。</p> <p>②サイエンスルームⅠの効果的活用、整備、管理体制の改善はできたか。</p> <p>③HPの更新頻度。</p> <p>④外部研修等の共有回数は増加したか、グループ・学年の業務進行は機動的・合理的であったか。</p>				